

「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会 協会通信

NO.49

心つなぐ足へのメッセージ

2025年 6月 発行

編集・発行 「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会 広報委員会
〒179-0085 東京都練馬区早宮3-12-5 TEL 03-3992-1824 Fax 03-3992-3309

「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会

会長 宮川 晴妃



昨年中は当協会にご協力を頂きありがとうございました。
今年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

「今日よりよい明日を」

これは私が尊敬している某病院のスローガンです。院長先生は、「今日一日生きることができた、その喜びを明日につなげたい」という思いを込めて作ったそうです。永年付き合っている癌患者さんから、治療の経過について問われても正直なところ「明日の事はわからない」というのが実感だそうです。だからこそ、まずは今日をしっかり過ごし、今日より少しでも良い明日をめざすということを願ってこの言葉をスローガンにしたと伺いました。

西郷隆盛など幕末の志士たちに大きな影響を与えたとされる佐藤一齊の「言志四録」には次のような一文があります。「人の一生は、道路にたとえれば、険しいところもあり、平坦なところもあり、また水路に例えれば穏やかな流れもあり逆巻く大波もある。こうしたことは命運の自然で免れる事のできない事である。其れであるから人は自分のいるところに案じ、これを楽しめばよい」 そうなのです！一日は一生のうちの一回だけの、かけがえのない一日です。それが穏やかであろうと逆巻いていようと、その一日を大事に生きる。これにつきます。会員の皆様に「今日よりよい明日を」の言葉をお送りいたします。

(宮川 晴妃)

総会報告 2025年度定期総会 書面表決結果

2025年度定期総会は昨年同様、会員の皆様には書面表決をお願いいたしました。会員総数92名、書面表決書提出者64名。定款第20条の規定により、書面表決の結果は有効となりました。

- 1) 理事改選
- 2) 2024年度活動報告及び収支報告
- 3) 2025年度活動計画案及び予算案

以上は承認されました。ご協力ありがとうございました。

～西脇副会長退任に添えて～

「爪切り屋」メディカルフットケア JF 協会事業に、長年ご尽力下さり、深く感謝申し上げます。

2020 年新型コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言が出され、活動の自粛が求められていた時期に、当協会の活動事業も中止や制限を余儀なくされました。

毎年開催されていた総会時の議決は、出席会員及び議長への委任状の数で決定していたのですが、「総会・研修会」をどのように取り組むとよいのかと思案の理事会でした。そのような時に、総会には書面表決という手段があることを知り「活動計画や報告、予算案や決算、会員の意思確認を必要とする議案」など必要書類を整える多くのことを教えて頂きました。そして、専任事務局不在状態の中での理事会運営でしたが、その時々にご助言・協働いただき心強く思いました。

新潟に引っ越しされてからも「書面表決集計」作業を引き受けてくださりまして、誠にありがとうございました。

これからも 健康に留意され、いつまでもお健やかでいらっしやいます様
お祈り申し上げます。

「爪切り屋」メディカルフットケア JF 協会



2025 年度 新理事会役員紹介

吉澤 峰子 (広報委員会)



2022 年 5 月に 1 級終了。

現在は、訪問看護ステーションで週 2 日勤務。

休みの日に訪問『「爪切り屋」ひたち』として個人のお客様、高齢者福祉施設 1 か所でフットケアと爪切りを行っています。徐々に患者様・お客様が増えている状況です。分からない事は協会の先輩方にメールや会って指導を受けています。

昨年は理事を個人的事情でお断りしたため、今年は引き受けることにしました。初めての理事、また高齢のため理解に時間がかかりますが、先輩理事の方々にご指導を頂きながら広報委員を頑張りますので、宜しくお願い致します。

田中 節子 (教育企画委員会)



世田谷区にある「ゆかみ先生の皮ふ科」で看護業務の傍ら、フットケア外来を担当しています。

フットケアが、フレイルを予防し、いつまでも自分の足で歩きたいと願う人々の、前向きな気持ちを支える大切な役割を担っていることを日々実感しています。ケア中は宮川先生ならどうする？と考え、よく思い出すが「嫌な感じがしないように」という言葉です。

技術はもちろん宮川先生の愛あふれるスピリットをケアに込めたいと思います。

この度微力ながら理事のお話をいただき、皆様にご指導いただきながら頑張っています。どうぞよろしくお祈りいたします。

前号で、2024年11月に開催しました第49回研修会（Zoom 研修会）のご報告をさせていただきましたが、今号では、「宮川晴妃先生の1日教室」の際に皆様からいただいた質問に改めて宮川先生にお答えいただきました！

Q1・寝たきりの方への施術の際のお客様と施術者の身体の位置

（フットボードが外れない場合）

Q2・肥厚爪を初回に削る際の厚みについて

Q3・器具の消毒について

Q4・角質除去にかかる時間

A1・（「高齢者のフットケア」より）



お客様に斜めに寝ていただき、太ももの下に折りたたんだタオル、足首の下、少し手前に丸めたタオルを置きます。こうすると爪先が下を向き、爪が見やすくなります。

お客様の姿勢が安定しないような姿勢は避けま

す。お客様の指先がいつでも自分のおへそと向き合うようにしましょう。

（※厚生科学研究所 宮川晴妃著
「高齢者のフットケア」P46 図5 引用）

A2・初回に削るのは3mmまでです。（3mmなら家庭用の爪切りで切れる厚さです。）引っかからないようにツルツルに仕上げることを忘れないで下さい。

A3・器具の感染症対策の基本は、石鹸を用いて器具を洗い、流水で洗い流して乾かすこと

です。

その後、エタノールや他の消毒薬液を使って下さい。

器具の使いまわしはしないで下さい。

A4・角質除去にかかる時間は、1趾につき60秒を目安にして下さい。角質の多い爪には60秒以上かかることもあると思いますが、お客様のことを考えて、時間をかけすぎない基本が大切です。

（文責：小泉）

理事会報告 第101回(1/26)、第102回(3/23)

《101回》早宮教室にて(対面・Zoom参加者有)

- ・教育企画委員会
第49回研修会アンケート結果より2025年度の研修会の検討
- ・広報委員会
協会通信48号と郵送物について
- ・今年度の振り返りと次年度計画 ・総会準備

《102回》早宮教室にて(対面)

- ・教育企画委員会
第50回、第51回研修会について
- ・広報委員会
協会通信49号について、50号記念号の案
- ・各委員会マニュアル作成について
- ・総会準備 ・郵送書類の確認 ・会計監査

以上話し合いました。



～理事の独り言～

「Zoomで理事会、どんなふうに行っているの？」

小川光子

私が理事・・・汗 Zoomで理事会・・・汗

私にできるの？・・・なんで私？・・・

引き受けたからには、がんばらねば

気を取り直し、みんなに教えてもらえばなんとかなるか前向きに

パソコンにカメラ機能はついている

Zoomのアプリは入れた

とりあえずこれでよし

いざZoomで理事会にのぞむ

初対面の人が多いのに、しかも画面ごしなのにとっても距離感が近く感じられ

一気に勝手に親近感がわく

理事会ではこんなにいろいろみんなが話しているけど、議事録つくれるかな

事務局からメールで画像と音声を送られてくると聞き、一安心

年齢を重ねできないことが増えていくのに、メールにファイルを添付して送れるようになった

チョットうれしー

そんな感想をもちながら理事の仕事をしています

物理的な距離は
問題じゃなかったね

(編集後記)

「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会では、今年度の6月には第50回研修会の開催、9月には協会通信も第50号の発行を予定しております。理事会も昨年度には102回を数えました。宮川先生はじめ、協会の諸先輩方は凄いなあ、としみじみと痛感いたしております。今年度も新しい理事を2名迎えました。先輩方から受け取ったこの襷を次に繋げていけますように…ご指導よろしく願いいたします。

(広報小泉)